

資料No.3

江田島市交流定住促進協議会
令和8年3月23日

令和8年度江田島市当初予算について

1 現状及び今後の取組について

令和7年度は、コロナ禍直後の地方回帰志向から都市部での入社回帰の動きが見られる中、県主催の移住フェアにおいても「仕事」が主要テーマの一つとなるなど、移住希望者の関心が就業に強く向いている状況であった。

「hodohodo」では空き家バンク物件の更新頻度を維持しつつ、とりわけ移住者インタビューの充実に注力した。仕事の選択や住まい探しの経緯、地域との関わり方などを具体的に紹介し、ニュース記事等も組み合わせ、多面的な情報発信に努めた。また、あらたにTikTokでショート動画の発信を開始し、移住後の暮らしを直感的にイメージできるコンテンツ展開を図った。

また、引き続き、移住交流拠点施設「フウド」を主体に空き家バンク現地案内、移住相談、移住者と地域住民との交流など、幅広く移住・定住を促進する取り組みを行う。

2 内容（予算額の（ ）内は前年度当初予算額）

事業名	項目	内 容	予 算 額
交流定住 促進事業	市交流定住促進協議会 補助金	市交流定住促進協議会事業に関する費用を補助する。	8,000千円 (8,350千円)
	移住・定住支援補助金	定住目的の転入者が、居住用の自宅を新築した場合に費用の一部を補助する。（上限額300千円） 市内の民間賃貸住宅に市外から移住の子育て世帯に対し、補助金を交付する。（上限額120千円） 移住検討時の片道交通費や宿泊費を補助する。（上限交通費20千円、宿泊費5千円）	3,080千円 (3,200千円)
	移住フェア出展及び会議等出席のための旅費	首都圏開催の県定住フェア等に参加し、本市のPR及び移住希望者への相談対応等を行うための旅費。	322千円 (454千円)
	移住交流拠点施設 修繕費	移住交流拠点施設について、必要に応じて修繕する（箇所付けなし）。	500千円 (0千円)
	ポータルサイト・空き家バンクVR運営費	市内の空き家物件情報をポータルサイトに掲載し、移住希望者へ移住関連情報を総合的に提供する。	291千円 (291千円)
	移住・定住促進PRコンテンツ作成業務委託料	TikTokコンテンツおよびポータルサイトに掲載する記事を民間事業者と連携して作成する。	500千円 (500千円)
	ポータルサイト改修 業務委託料	利用者が重要な情報に到達しやすく、使いやすいようHPを改修する。	330千円 (0千円)
	ポータルサイト保守 管理委託料	ポータルサイトのセキュリティ対策やトラブル対応などの保守を行う。	132千円 (0千円)